

令和7年度（伊志田高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
○法令遵守意識の向上	○サービスについて正しく理解し、不祥事を未然に防止する。 ○公務外での非行を未然に防止する。	○神奈川県職員行動指針を常に携行し、意識啓発を行った。 ○管理職から、不祥事の事例について周知し、指導をした。 ○全職員を対象にした不祥事防止職員研修を実施し、不祥事を防止した。
○職場のハラスメントの防止	○すべてのハラスメントについて全職員が理解し、ハラスメントのない職場環境をつくる。	○全職員を対象として、ハラスメントに関する理解を深める職員研修を実施した。 ○管理職からの声かけ、職員同士の声かけを行い、風通しの良い職場環境をつくった。
○生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	○職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、ルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を根絶する。	○啓発資料を活用した研修を行い、特に、生徒とのSNS利用禁止を徹底した。 ○管理職による面接を年に複数回行い、職員のメンタルケアを実施した。 ○管理職による教科準備室等の巡視を日常的に行い、個別指導は複数で行うか、人目のある場所で行うように指導を徹底した。
○体罰、不適切指導の根絶	○部活動や教科指導等での体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	○全職員を対象として、不適切な指導についての職員研修を実施した。 ○顧問会議において、研修を実施した。 ○体罰や不適切行為を見聞きしたら、管理職に報告するように、指導を徹底した。
○入学者選抜に係る不祥事防止	○入学者選抜に係る不祥事を未然に防止する。	○入選研修会で、複数チェック体制による業務遂行を徹底するよう指導をし、不祥事を防止した。
○個人情報等管理・情報セキュリティ対策に係る事故防止	○個人情報の流失、及び携帯電話、電子メール、SNS等の不適切使用を未然に防止する。	○全職員を対象にした機器等の紛失や、特に対策重要度Ⅰに該当する情報の管理徹底など個人情報流出等に係る不祥事防止研修を実施した。
○交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転に係る不祥事防止	○交通事故、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	○教職員としての自覚をもち、通勤、私用にかかわらず安全運転を心掛けるように、指導を徹底した。
○業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	○情報共有を密にし、業務協力体制を強固なものにする。また、相互チェック体制を機能させ、声をかけ合える職場にする。	○業務の悩みやストレスを一人で抱え込まないように、日頃から信頼関係を築き、職員が安心して話し合える職場づくりを行った。
○財産事務等の適正執行	○公費、私費において、適正に経理処理を行う。	○私費会計担当者会議を開催し、私費会計基準に則った会計処理研修を実施した。また、会計処理について、全職員を対象にした不祥事防止職員研修を実施した。 ○学校行事やPTA役員会・実行委員会等で執行に関する注意点を周知し、不祥事を防止した。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

不祥事防止職員研修を計画的に実施した。特に、事例研究を通して、職員が自分事としてとらえるように、不祥事防止の意識を高めた。

入学者選抜、成績処理、進路指導においては、複数チェック体制を確立し、職員同士がお互いに声をかけ合い、不祥事を防止した。

全職員との管理職面接を年に複数回実施し、業務負担の増大などによりストレスがたまらないよう、業務改善の助言をした。また、産業医による個別健康相談を実施し、職員のストレス軽減を図った。